

事業終了段階



No	ポイント	Check !
1	お互いに対等な立場で率直な意見交換を行い、情報共有を図りながら事業を進められました。	
2	お互いの特性や立場の違いを理解し、お互いの強みや得意分野を、どのようにしたら生かし合えるかを相談しながら取り組むことができました。	
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して事業の進捗状況についてチェックを行い、必要に応じて修正しながら取り組むことができました。	

ここがポイント！



【協働を楽しもう！】

協働で事業を実施する醍醐味は、喜びや悩み、達成感を分かち合えることです。立場の違い、組織の違い、考え方の違いでぶつかることがあっても、よりよいまちにしたい、課題を解決したいという気持ちは一緒です。

お互いの信頼関係が深まることで、達成感・満足感はより一層高まります。



一人ひとりの中に「協働マインド」が育まれることで、豊かなふちゅうにつながります！

Let's 協働！

作成：府中市市民協働推進部協働推進課
電話：042-335-4414(直通) FAX: 042-365-3595
e-mail: siminkyodo01@city.fuchu.tokyo.jp

よりよい協働事業のための チェックシート

協働って？



市民の皆さんや市内で活動している色々な団体、企業、市役所など、異なる立場の人たちが、それぞれの得意なことを生かし、協力して地域の様々な問題を解決することをいいます。

(出典：府中市市民協働の推進に関する基本方針概要版)

協働することによってどんな効果が期待できるの？



特性や得意分野を生かすことで、様々なアイデアが生まれたり、お互いのネットワークを生かして幅広い事業展開が期待でき、よりよい事業につながります。

チェックシートの使い方

- 協働事業の実施の計画づくりを始めるときには「事業計画段階」、いよいよ事業を始めるときには「事業実施段階」、事業が終わったときには「事業終了段階」の項目を確認しましょう。
- それぞれの段階で必要なことができていたかをチェックし、双方で話し合いをし、できなかったことは、改善策を一緒に考えて、次回に生かしましょう。

事業名：

事業計画段階



No	ポイント	Check !
1	解決に取り組むべき地域課題や協働する意義、費用に対する効果等について、お互いの認識を共有しました。	
2	十分なコミュニケーションを図ることで、会計処理や意思決定の方法などの組織の決まりや立場の違いを、お互いがよく理解することができました。	
3	お互いの得手不得手を認識し、それぞれの特性を生かすことができるよう、役割分担や事業計画を作成することができました。	
4	継続事業の場合には、前回実施した事業の検証結果を十分に反映して、事業計画を作成することができました。	

事業実施段階



No	ポイント	Check !
1	お互いに対等な立場で率直な意見交換を行い、情報共有を図りながら事業を進めることができました。	
2	お互いの特性や立場の違いを理解し、お互いの強みや得意分野を、どのようにしたら生かし合えるかを相談しながら取り組むことができました。	
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して事業の進捗状況についてチェックを行い、必要に応じて修正しながら取り組むことができました。	

ここがポイント！

【基本が大事！】



事業の目的や必要性について、計画段階で共有をしましょう。
事業の途中で意見や方向性にズレが生じた場合、当初設定した共通の目的を見直すことで、軌道修正をすることができます。

【組織の違いを理解しよう】

行政が補助金や委託料を支払う場合、公金を支出することになるため、事業終了後の報告時に、領収書など支出を証明する書類等の提出が必要になる場合があります。また、団体が事業を行う際には、重要事項の意思決定を理事会で行う場合があるため、どのようなスケジュールで行うとスムーズに事業が行えるか、事前に話し合っておくとよいでしょう。

ここがポイント！

【情報共有は信頼関係構築の第一歩！】



事業を進める中で、当初の予定どおりに進まないことも出てきます。

必要に応じて最初の計画に固執せず、柔軟に対応できるよう、定期的に話し合いの場をつくることが重要です。

話し合いを重ね、お互いの特性を理解することで、与えられた役割をこなすだけでなく、何ができるかを積極的に考えることができ、事業が更によいものになります。

また、事業の質を高めるため、それぞれがもつネットワークをつなげていくことで、協働の輪が更に広がります。